

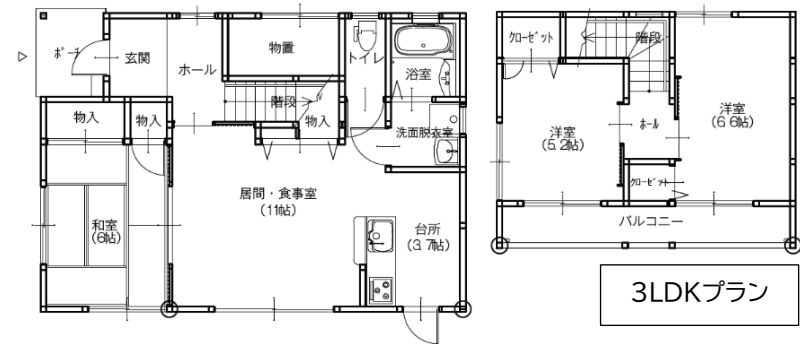
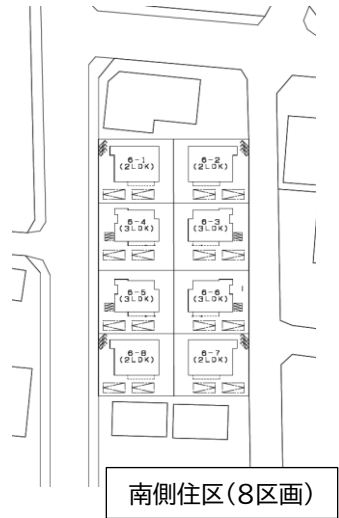
災害公営住宅の建て方のパタン

	戸建て住宅	2戸1建て	テラスハウス (長屋建て)	共同住宅
			2階建ての2軒以上の家が 共同壁で繋がっている建物 	
整備戸数	・敷地面積に対して、建設する戸数は比較的少ない(数戸～)			・建設戸数は多い(十戸以上～)
建てる場所 の条件	・建設戸数が比較的少なくてよい場所 ・高い建物の建設がなじまない場所 ・地形の制約がありまとまった敷地が確保できない場所 ・道路の広さなどで工事車両が入りにくい場所			・まとまった戸数が必要な場所 ・周辺が市街化され、中層の住宅建設が可能な場所 (都市計画区域内など)
間取り・ 住戸面積	・比較的大きめの面積となる ・2階建ての場合は、階段があるので1DKなど小型住戸には適さない			・小型～大型住戸まで可能
バリアフリー	・1階建の場合、住戸内部が全てバリアフリー仕様 ・2階建の場合、住戸内部に階段がある			・住戸内部はバリアフリー仕様 ・2階建の場合はエレベータなし ・3階建以上はエレベーターあり (原則)

戸建て住宅の事例



団地名	白虎2団地
所在地	福島県会津若松市



住宅団地概要	
構造	木造
戸数	15戸
住戸タイプ	2LDK 3LDK

2戸1建て住宅の事例



団地名	甲佐団地
所在地	熊本県甲佐町



↑災害公営住宅と子育て支援住宅が、公園とみんなの家を囲む配置計画



住宅団地概要	
構造	木造長屋(2戸1)
戸数	30戸
住戸タイプ	2LDK 約65㎡
敷地面積	7,903㎡

長屋建て住宅の事例



団地名	熊本県宇土市境目団地
所在地	熊本県宇土市



住宅団地概要	
構造	木造
戸数 (階数別)	敷地1:20戸 敷地3:5戸 (合計平屋25戸)
住戸タイプ ・住戸面積	1LDK 約45㎡(13戸) 2LDK 約60㎡(10戸) 3LDK 約75㎡(2戸)
敷地面積	敷地1: 3,994㎡、 敷地3: 1,175㎡



敷地1、2 配置図

共同建て住宅の事例



団地名	川原団地
所在地	岩手県大船渡市



配置図(基本計画時点)

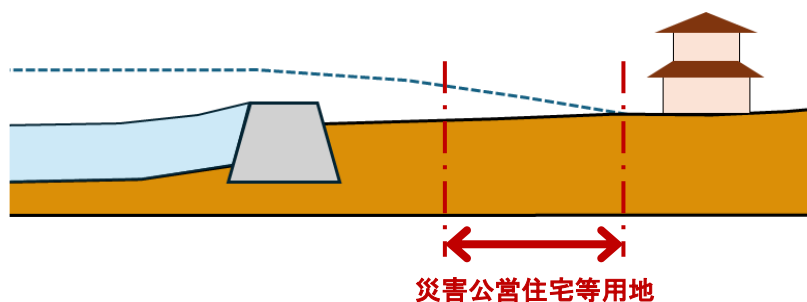


住宅団地概要	
構造	RC造3階 (エレベーター付き)
戸数	29戸
住戸タイプ	2DK～3DK
敷地面積	約2,600㎡

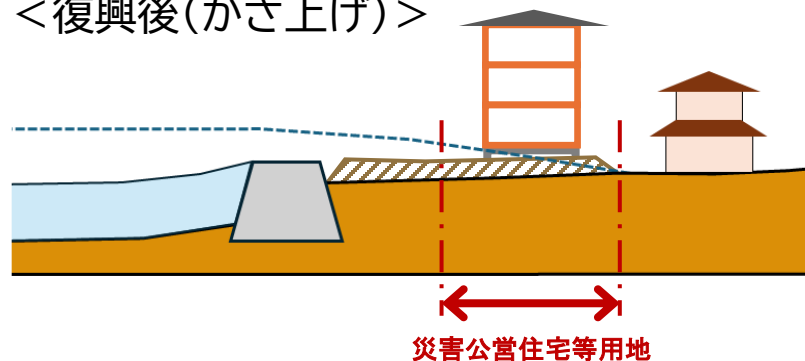
災害公営住宅の建設イメージ【沿岸部】

- ・津波等による浸水の懸念のある地域では、地盤のかさ上げや住宅を2階以上にし、浸水被害を考慮した計画とすることが考えられる

<復興前>



<復興後(かさ上げ)>

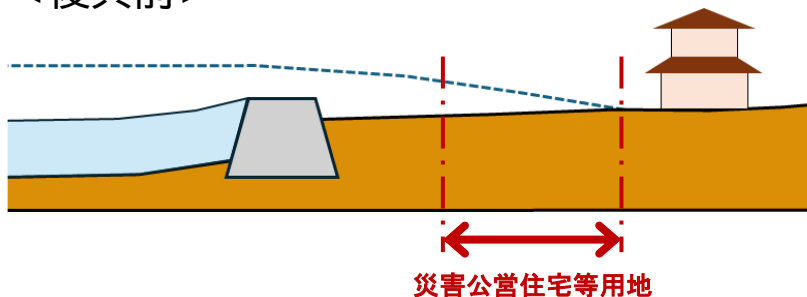


① 地盤をかさ上げた事例

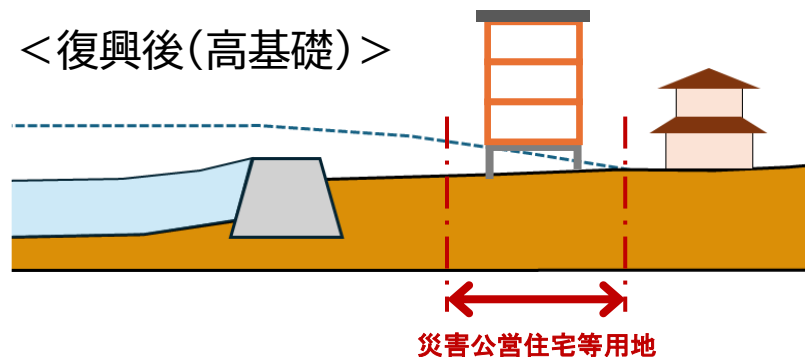


災害公営住宅の建設イメージ【沿岸部】

<復興前>



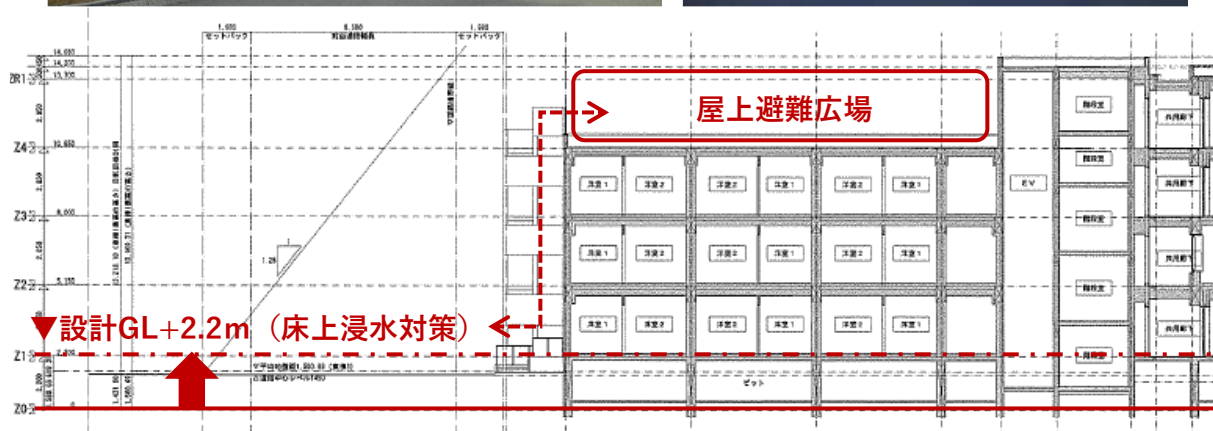
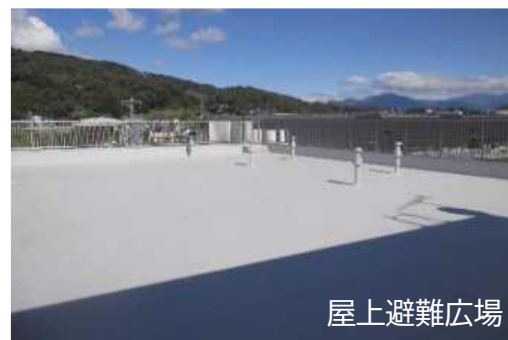
<復興後(高基礎)>



② 1階を駐車場、2階以上を住宅とした事例



③ 1階床高さを上げて、屋上を一次避難場所として確保した事例

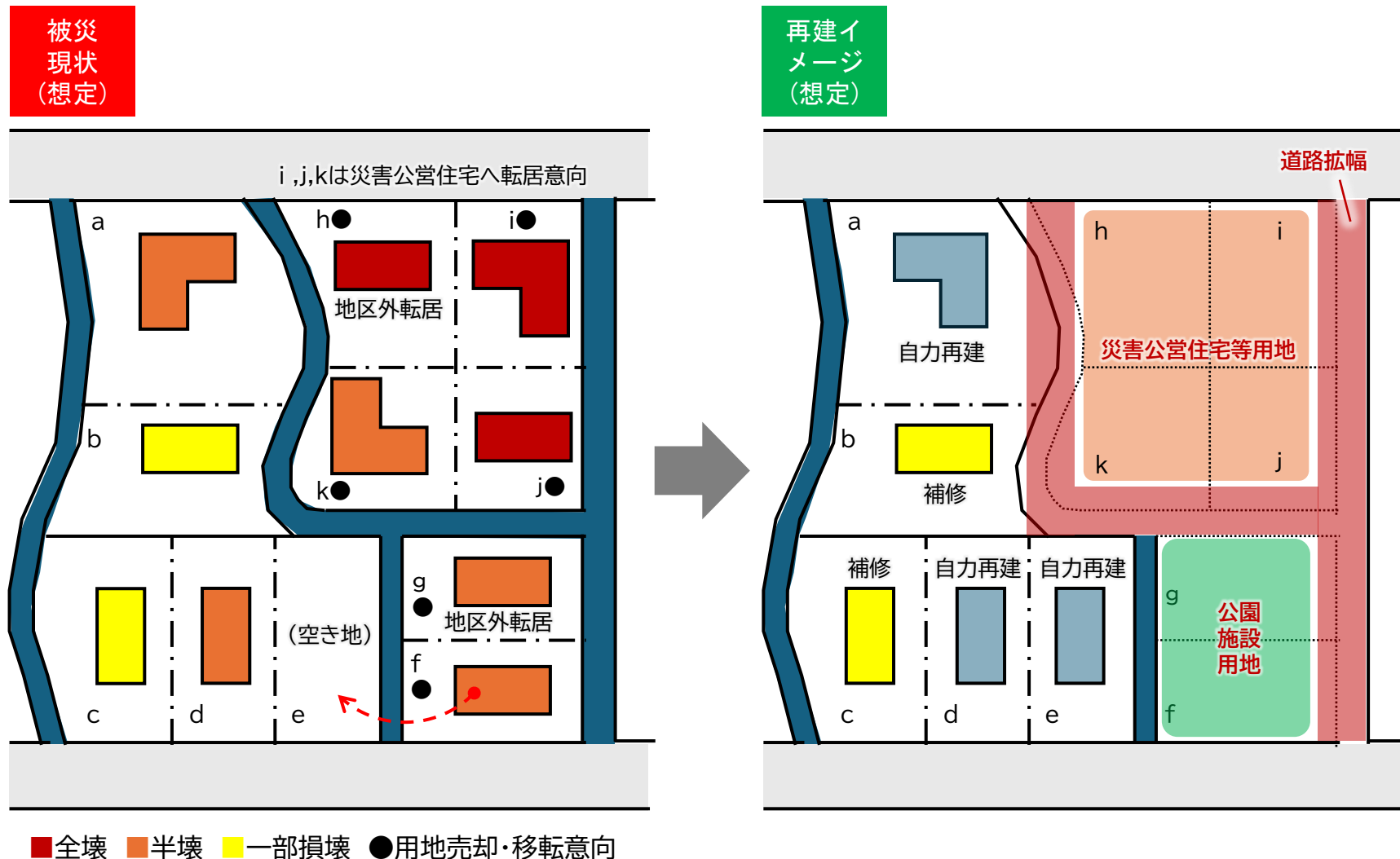


出典:「公営住宅に係る災害対応の手引き(案)」(令和4年6月、国土交通省)を一部加工

長野市webサイト(<https://www.city.nagano.nagano.jp/documents/12687/755633.1.pdf>)

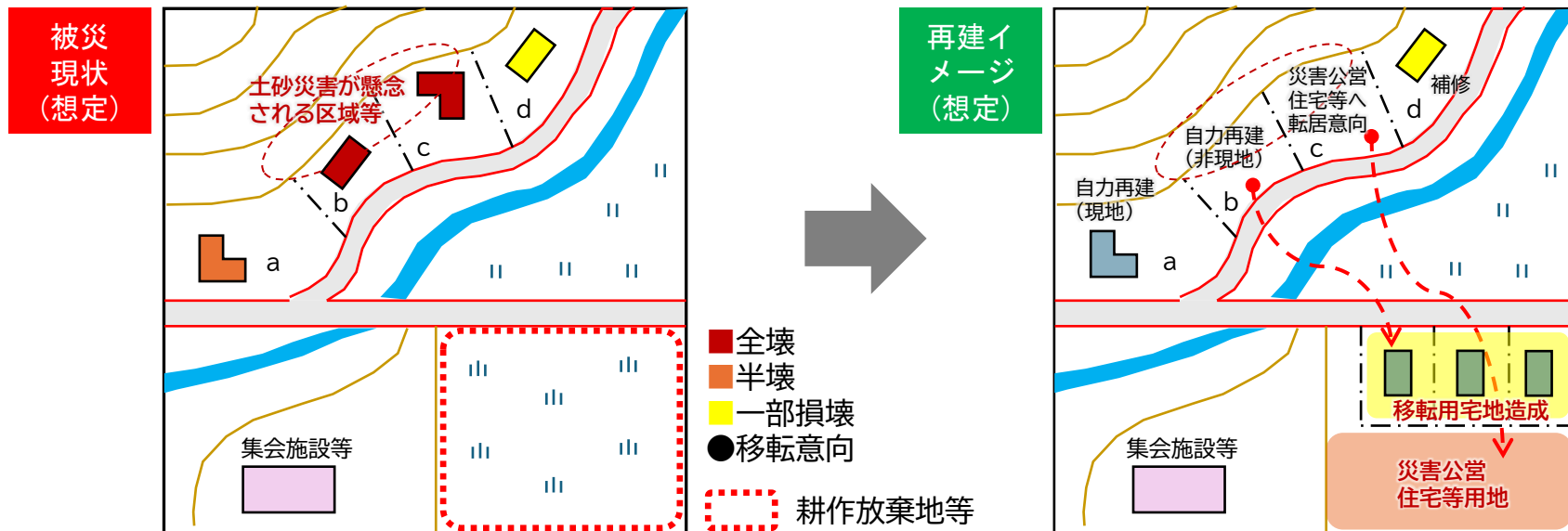
災害公営住宅の建設イメージ【市街地】

・細い道路や細かい敷地割が多い地域では、住民と合意形成を図り、道路や公園等の基盤整備とともに災害公営住宅等を建設することが考えられる



災害公営住宅の建設イメージ【中山間部】

・山あいの集落などで、土砂災害などの危険がある場所では、拠点となる場所に移転用の住宅用地を確保し、一部に災害公営住宅等を建設することが考えられる



復興住宅の事例

